



来週から三者相談です。前期の通知票を配付します。

来週13日(火)より三者相談が始まります。三者相談では、お子さんの学校、家庭での学習、生活の様子を確認し、さらに伸ばすところや改善点について話し合い、よりよく学習、生活ができるようにしていきたいと思っております。特に三年生は進路実現に向けて、進路先決定の重要な話し合いになりまのでよろしくお願いいたします。

また、三者相談時に、前期の通知票を配付します。技能4教科(音楽、美術、保健体育、技術家庭)の評価、前期の係活動等の様子、総合的な学習の時間の学習の様子をお伝えいたします。そして、中学校では来年度から全面实施される「特別な教科 道徳」の時間の評価を、館岩中では今年度より通知票でお伝えします。下記に、今までの「道徳の時間」と「特別な教科 道徳」とは何か違うかについてお読みください。

「道徳の時間」が「特別な教科 道徳」になった背景

道徳の教科化にあたり、

- ①深刻ないじめ等の問題解決へ対応する力
- ②情報化等で変化する社会に自ら対応する力や人間関係を築く力
- ③自分の良さに気づき、伸ばす
- ④正解は一つでなく、様々な考えを出し合い、互いに尊重する 等

ことが、現代の社会に必要なことで、それらについて考える機会が求められます。また、多くの仲間と議論を重ね探し、納得する自分なりの答えを見つけ出そうとする力を伸ばすことが大切です。

そのために、「特別な教科 道徳」では、以下の点で授業が変わります。

- 国から無償給与される教科書を主に使います。(中学校は来年度から教科書を使用します)
- 自分ごととして今まで以上に考え、話し合うことが増えます。
- 答えが一つではない物事について、互いの意見を尊重し合う活動を通して、子供たち一人一人が自分自身の問題として捉え、向き合う場面が増えます。
- 子供たちを認め、励ますための評価を行います。

「特別な教科 道徳」の評価について

道徳科の時間の中で、自分ごととして道徳的価値の理解を深めようとしていたか、また、ある道徳的価値について様々な角度、観点から考えようとしていたかを評価します。

評価は、文章で記述し、他教科のような数値による評価は行いません。また、進学の際に、道徳科の評価が入試で活用されたり、調査書等に記載したりすることはありません。

道徳科の評価は、道徳科の時間で自分ごととして一生懸命に考えたこと、仲間とともに学び、新たな気づきがあったことをほめ、認め、励ます評価で、他の子どもと比較するものではありません。

保護者の皆様には、道徳科の評価をみて、子供たちに自分自身の考えをもっていることの良さを感じていただき、子供たちと道徳的な価値について話し合う機会をもち、互いの考えを認め、励ましていただければと思いますのでよろしくお願いいたします。

新生徒会役員、後期学級役員任命式

新生徒会役員、後期学級役員が以下のとおり決まり、11月5日(月)に任命式を行いました。生徒会、学年が充実したものになるように活躍を期待しています。

【生徒会役員】

生徒会会長	Hさん
生徒会副会長	Hくん
	Hさん
生徒会庶務	Sさん
	Hくん

【学級役員】

	1学年	2学年	3学年
学級委員長	Sさん	Yくん	Oさん
学級副委員長	Aくん	Kくん	Yさん
学級庶務	Sさん	Iさん	Yさん
	Hくん	Fさん	Oさん

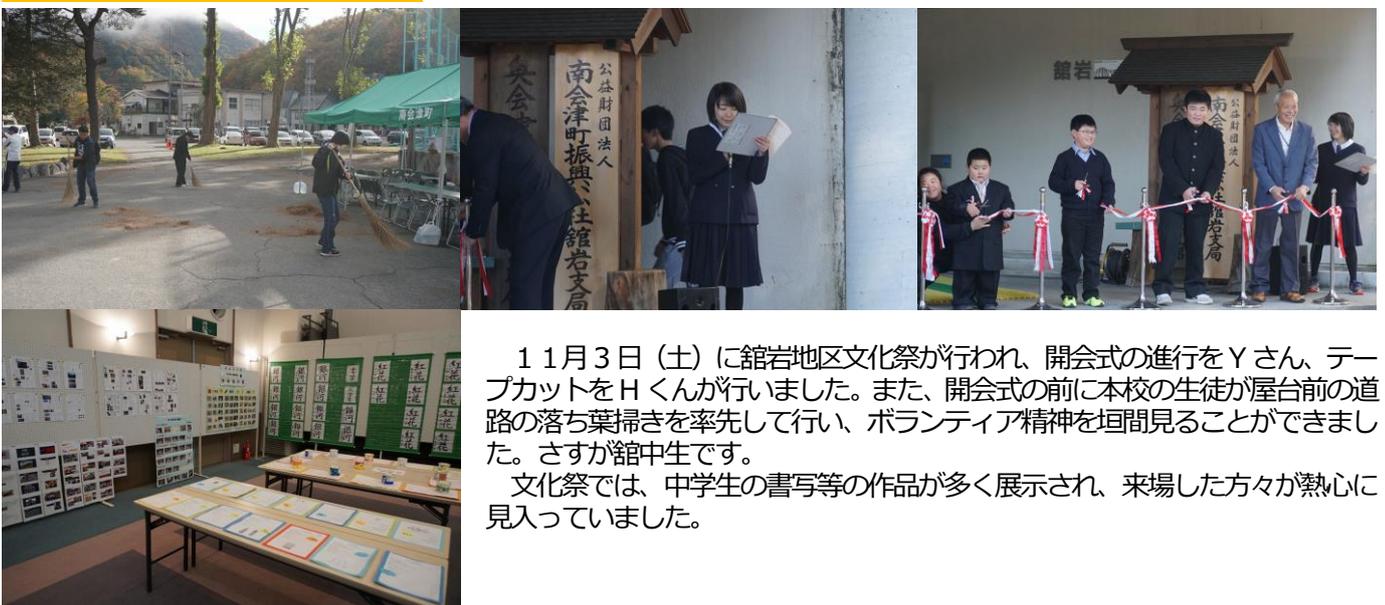


冬囲いを行いました



11月5日(月)に校舎の雪囲いを行いました。今回は、4mの板を半分に切り、板が反っている部分にカンナをかけたため、板をスムーズにはめることができました。例年、苦勞して雪囲いをしていましたが、順調に作業が進み、生徒たちも簡単に板をはめることができ、楽しく作業ができたと感想を述べる生徒がいました。多くの板を半分に切り、カンナをかけていただいた教育委員会分室の皆様をはじめ感謝申し上げます。

館岩地区文化祭



11月3日(土)に館岩地区文化祭が行われ、開会式の進行をYさん、テープカットをHくんが行いました。また、開会式の前に本校の生徒が屋台前の道路の落ち葉掃きを率先して行い、ボランティア精神を垣間見ることができました。さすが館中生です。

文化祭では、中学生の書写等の作品が多く展示され、来場した方々が熱心に見入っていました。